

2021年5月27日発行 会報第1056号

今週のプログラム

(2021年5月27日 第1056回例会)

【ZOOM例会】

卓話：SL 銀河とリアス線

担当：相原 正雄会員

次週のプログラム

(2021年6月3日 第1057回例会)

【ZOOM例会】

卓話：コロナピンチをチャンスに変えた
最強の経営術

担当：高田 宗慶会員

第1055回例会 (2021年5月20日の記録)

<会長の時間>

山本 友亮 会長

皆様、こんばんは。先週は臨時休会でしたのでお久しぶりでございます。5月14日金曜日には姉妹クラブであります福島21ロータリークラブが創立20周年記念式典を開催されZOOMにて配信され当クラブからも数名の会員様が参加いただきました。本当に威厳に満ちたと申しますか、最後まで緊張感のある式典でございました。私はビデオメッセージにて祝辞を述べさせていただきましたが、緊張感たっぷりの中で放映されましたので少々恥ずかしい思いを致しました。しかしながら同様に山本加奈子さんもビデオメッセージでラオスにおける保健衛生活動の報告等を披露されておられましたが、堂々としてハキハキと内容もしっかりわかりやすく話されていて、千里メイプルロータリークラブとしての面目を保っていただけ、ホッとしております。創立時のメンバーが46名で現状会員も同じ46名であり、活動もいろいろとされておられ感銘を受けた次第です。

理事会報告でもお伝えしましたが、祝電・祝花・ご祝儀をおくらせていただきましたが、福島21ロータリークラブからは記念寄付として当クラブに「ラオスにおける保健衛生活動」に対して10万円の記念寄付をいただいておりますことをご報告申し上げます。また、先日もお伝えしましたが創立50周年を迎えられる同じIM第2組の摂津ロータリークラブへは記念式典の予定されていた先週に祝電をおくらせていただきました。摂津ロータリークラブの中尾会長様より御礼の電話をいただいたことも併せてご報告致します。

考えてみますと、本来ならば先週の金曜日には会員の皆様とともに福島県へ遠征して20周年を福島21ロータリークラブの皆様とともにお祝いし、楽しい時間に酔いしれることができていたはずなのに、とコロナ禍を恨むばかりです。同様に摂津ロータリークラブは先週の土曜日に式典を予定されておられたので、残念でなりません。ワクチンもすんなりとはいかないようですが、もう少しの所まではきていますので、皆様より一層のご自愛をいただき頑張ってくださいませ。



<本日のビジター> 2021 学年度 米山奨学生 アクサ メイリアナ インタニさん

<出席報告> 木下 健治 SAA 補助

会員数 (内出席免除会員 1 名) 17 名
本日の出席者数 10 名
(内免除会員 0 名)
(名誉会員 0 名)
本日の出席率 62.5%

<ロータリーソング> 全会員

♪それでこそロータリー♪
どこで会っても やあと言おうよ
見つけた時にゃ おいと言おうよ
遠い時には 手を振り合おうよ
それでこそローロー ローターリー



<幹事報告>

水本 徹 幹事

1. 西川ガバナー補佐より、地区ホームページ掲載の「希望の扉プロジェクト」PR 動画のお知らせと視聴のお願いがありました。第 1 の扉についての 2 つの講演会は 5 月 29 日(土) 6 月 12 日(土) いずれも 1:30~です。
2. 簡ガバナーより「日本のロータリー100 周年を祝う会 記念式典・祝賀会」(無観客開催)のオンライン視聴のお願いがありました。5 月 25 日(火)13:00 開会 16:30 閉会です。本日グループ配信致しましたメールの添付ファイルに記載の URL から無料でご視聴いただけます。



<卓話>

「米国株式市場 2」

木下 健治会員

前回は米国株式市場には主に 3 つの指標があり、現在まで上下はあってもずっと上がり続けている仕組みをお話しさせて頂きました。今回は、半年が経ち現在どういう状況でこれからどうなっていくかという考察をしていきます。

去年はダウが約 7%、S&P500 が約 16%、NASDAQ が約 44%上がりましたが、今年に入ってから、ダウが約 11%、S&P500 が約 10%、NASDAQ が約 3%と NASDAQ が、かなり出遅れています。金利が上がると「グロース株」と言われるハイテク関係が売られやすい、昨年の反動で景気や消費が戻ってくると「バリュー株」と言われる景気敏感株が買われやすいと言われますが、これらについても主に S&P500 を用いて分析していきます。

金利の指標となる米国 10 年国債金利は、ここ半年くらいは上昇基調ですが、現在でも 2020 年初と同水準ですし、長期で見ると下落基調です。この金利上昇が株価に与える影響を考えると、 $\text{株価} = \text{一株利益} \div (\text{名目金利} + \text{リスクプレミアム} - \text{名目成長率})$ で表されるので、名目金利が急激に上がると株価は下がります。名目金利上昇より名目成長率(インフレ率+実質利益成長率)が大きくなると株価は上がります。グラフの通り、過去 20 年の名目米国 10 年国債金利の上昇局面では、S&P500 は上昇していますが、10 年国債金利が 4 週間で 0.3%以上上昇した局面では、グロース株は下がっていますが、バリュー株は上がっています。しかし 4 週間で 0.3%未満上昇の局面では、ほぼ全てが上がっていますので、これからも急激な金利上昇がなければ、株価は上昇していくと考えられます。

グロース株とバリュー株を比較すると、IT バブル崩壊以降はバリュー株の方がトータルリターンは大きかったのですが、ここ 3 年くらいはグロース株の方が大きくなっています。業績の 12 か月先の見通しや将来の期待値は、リーマンショック以降はグロース株の方が大きくなっています。ただし、年明け以降はバリュー株が優位になっています。

次にグローバル製造業 PMI(50 以上は景況感改善、50 以下は景況感悪化)という指標で見ると、3 年周期サイクルとなっていることがわかります。1998 年以降、グローバル製造業 PMI の上昇局面では、S&P500 も一応 TOPIX(東証株価指数：東証一部全株式の時価総額を対象とした指数)も株価も一株当たりの利益も上がっています。現在はグローバル製造業 PMI も上昇局面で、グローバル製造業 PMI 新規受注指数も上昇局面であり、同完成品在庫指数は低位にあるので、これからさらに生産余力があると考えられます。また、コロナ禍での現金給付により可処分所得が増えましたが、巣ごもりで貯蓄に回り、一旦落ち込んだ消費もワクチンの接種率も上がっていることもあるかと思いますが、急激に上がっています。これらを踏まえて、2020 年はコロナ禍でもあまり影響を受けにくいグロース株が上昇し、今年に入ってから、景気回復を受けてバリュー株が上昇しています。さらに、2020 年は期待値主体で上昇していましたが、今年業績で上昇しているのがわかります。今後は金融緩和の恩恵で上がっていた「金融相場」から業績重視の「業績相場」に移行していくと考えられます。実際に S&P500 の一株当たりの予想利益は、2021 年 4~6 月期が上昇率ピークですが、その後も上昇する予想です。また、この 4 月末での 1~3 月期の決算発表で、業績予想と実勢の乖離率がここ 2 年では最高となり、対予想比での上振れが大きくなっていますし、IT 企業の 4~6 月期と 7~9 月期の一株当たり利益も、年初の 1 月 4 日時点と 5 月 10 日時点では、その伸びが大きくなっているため、予想以上に業績が回復していることがわかります。

今後は、景気の過熱感をどうやって吸収していくのが焦点になりますが、まずは財政・金融刺激策の縮小に注意をしていく必要があります。また、グローバル製造業 PMI が 50 以上だが低下局面では、S&P500 はそれでも上昇している方が多いですが、TOPIX は低下傾向です。ただ、トータルリターンはグローバル製造業 PMI が上昇局面よりも低下局面の方が少ないので、それは覚悟しておく必要があります。よって、個別銘柄で読み切るのはやはり難しいので、S&P500 や NASDAQ といった指数であれば、上下も個別と比べると小さく、これまでは下がっても必ず上昇しているの、指数の方が無難ということになるのではないかと思います。

